

基金を活用した助成事業のご紹介

■協働助成事業(テーマ希望型)

山形県民共済生活協同組合からの寄付による

〔県民共済「共に豊かな生活を」婚活と子育て支援事業〕

相手の人柄を知り、地域みんなで応援するNEW婚活事業

事業実施団体 庄内コン実行委員会（鶴岡市）

事業内容

当団体は、未婚者の出会いの機会と地域の賑わいを創出することにより、カップルが増え、より明るい社会に繋げていくことを目的に婚活支援の活動を継続しています。



このたび、8月17日に開催された第23回赤川花火大会において、花火の鑑賞に加え出会いの場を提供しました。前日から会場準備のボランティアスタッフとして関わっていただくことにより、相手の人柄を垣間見ることができ、花火を単に鑑賞し楽しむのではなく、地域みんなで賑わいを創り上げているという気持ちを持つことができました。男性50名、女性25名の計75名が参加し、花火大会の成功とともに7組のカップルが誕生しました。

日産プリンス山形販売株式会社からの寄付による

〔日産プリンス山形販売 子どもから大人まで環境にやさしい社会づくり支援事業〕

蛍鑑賞・トンボ採り体験事業

事業実施団体 米沢ホテル愛護会（米沢市）

事業内容

6月24日に寄付者からも参加いただき、ホテルの学習・観賞体験を行いました。ホテルの生態を紙芝居で事前学習し、地元でもあまり知られていない小野川周辺のホテルの生息地でホテルを観賞しました。参加者は、暗闇に光る多数のホテルに感動し、身近な自然の大切さをあらためて実感していました。



また、赤く光る姫ボタルの観賞体験は連日好評で、追加の移動バスを出すとともに、鑑賞期間も延長しました。

イオンリテール株式会社からの寄付による

〔イオン・さくらばWAON 子どもの健全育成支援事業〕

高校生による「もがみ」の魅力発信事業

事業実施団体 新庄南高等学校 もがみUC（新庄市）

事業内容

被災地支援活動を通して始まった女川高校との交流をきっかけに、女川町オリジナルの「女川カレー粉」と最上地域特産の「アスパラガス」を組み合わせた創作カレーライスと、8月3日に新庄市商店街にて振る舞いました。

被災地の経済復興支援のため、多くの方々から女川カレーを知っていただくとともに、最上地域の特産物を再発見していただくのがねらいです。

今後とも、コミュニケーション能力や豊かな人間性が身につくよう他校の生徒や大人とともに活動してまいります。



山形県都市整備協会からの寄付による

〔やまがたまち並みづくりサポート活動支援事業〕

イザベラ・バードのアルカディア街道山形路(220km)マップ作成事業

事業実施団体 アルカディア街道 I・B倶楽部（南陽市）

事業内容

1878年（明治11年）に来日したイギリス人女性旅行家イザベラ・バードが旅した山形路の15市町（小国町、飯豊町、川西町、高島町、南陽市、上山市、山形市、天童市、東根市、尾花沢市、大石田町、舟形町、新庄市、金山町、真室川町）との広域連携により、山形の魅力と価値の掘り起こしを進めています。日本語のほか、英語、中国語、韓国語に訳した観光ロードマップ（自然景観、歴史、飲食文化など）を作成し、駅や郵便局、観光協会などに配置して、山形を訪れる方に山形の魅力を届ける事業を目指しています。



■協働助成事業(テーマ希望型)

アサヒビール株式会社からの寄付による

〔うまい！を明日へ！郷土が誇る最上川と伝統文化保護・保全事業〕

1 鮭川歌舞伎継承 300年プロジェクト

事業実施団体 鮭川歌舞伎保存会（鮭川村）

事業内容

鮭川歌舞伎は約240年の歴史があり、その伝統を現在まで継承しています。昭和46年に保存会を発足後、後継者育成のため昭和62年に子ども歌舞伎を発足させ、授業での出前講座や定期公演への出演などに力を入れてきました。この事業では、現在までの活動資料や記録をまとめたPRパンフレットを作成するとともに、伝統行事であった羽根沢温泉での湯治興行を復活させ体験する機会をつくります。



また、子ども歌舞伎連中を主体とした、交流都市の子どもの歌舞伎交流会を実施し、伝統文化や農村文化の魅力と意識付けを図っていきます。

3 最上川上流域における石積堤防に関する文化的資産の比較

事業実施団体 (特活)最上川リバーツーリズムネットワーク(長井市)

事業内容

最上川上流域に残る江戸時代の石積堤防は、米沢・松川の直江石堤が知られており土木遺産にもなっています。

一方、長井の置賜野川に残る締切堤防は規模や構造から直江石堤に劣らない、全国的にも貴重なものです。そこで、二つの石堤の歴史的背景も踏まえたリーフレットを作成し全国に発信することで、最上川の文化資産の価値を高めることに取り組んでいます。



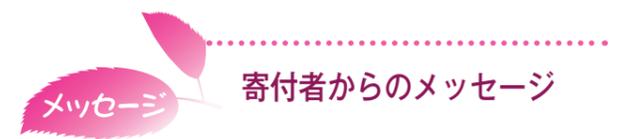
今後とも、行政や地元の文化財研究会の方々と協力しながら進めていきます。

施設紹介

地域の宝「ふれあい展望台」がリニューアルオープン！

事業実施団体：(特活) 喜楽里（山辺町）

「人を活かす交流まちづくり施設整備支援事業」を活用し、山形市双葉地区の展望台がリニューアルされました。山形市と山辺町の3地区が共同で地域の原風景を将来の世代に引き継いでいくために整備したものです。県の眺望景観資産にも指定された絶景は、地域内外の交流の拠点として活用されることが期待されます。



寄付者からのメッセージ

アサヒビール株式会社 山形支社長 東田 洋一さん



当社は、主力商品「アサヒスーパードライ」の売上の一部を、都道府県ごとに設定した自然や文化財等の保護・保全活動に役立てる社会貢献企画「うまい！を明日へ！」プロジェクトを全国キャンペーンとして展開しています。

山形県が推進している最上川を核とした郷土の景観保全と地域の伝統文化を次世代に継承する取組みに賛同し、山形県ならではの自然環境の保全や地域文化を保全する活動を支援していきます。